

東京のまちづくり

特集1 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた道路の暑さ対策について

特集2 ガイドアプリと一緒に動物園・庭園に行こう♪



遮熱性舗装整備状況



遮熱性舗装工事



Tokyo Parks navi

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた

道路の暑さ対策 について



暑さ対策の概要

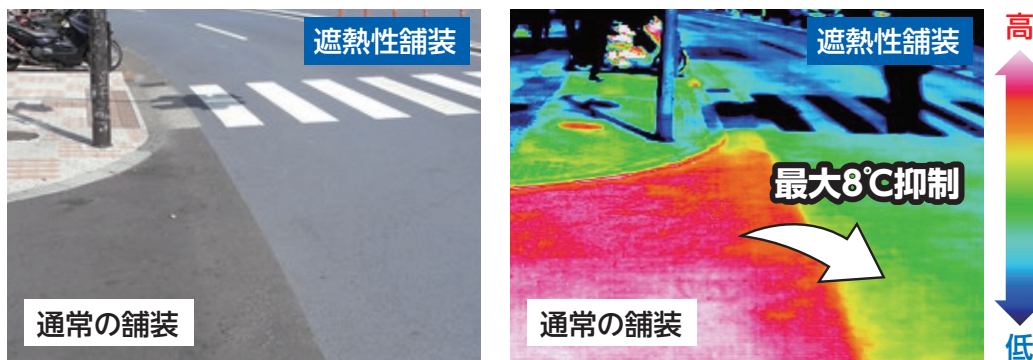
- 夏の暑さ対策(ヒートアイランド対策含む)の一つとして、センター・コア・エリアを中心とした重点エリアにおいて、路面温度の上昇を抑制する遮熱性舗装や保水性舗装を路面補修工事に併せて実施しています。
- 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、2020年までに競技コース等を含む都道において、当舗装を累計約136km整備します。

事業エリア



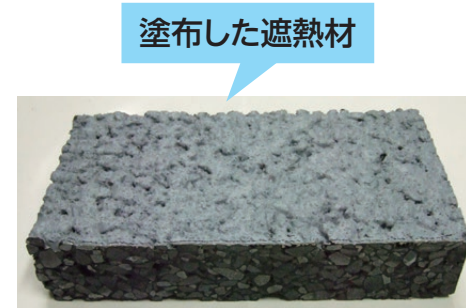
〔対象区〕・千代田区・中央区・港区・品川区・目黒区
 ・渋谷区・新宿区・豊島区・墨田区・江東区
 ・文京区・台東区・荒川区 計13区

赤外線写真



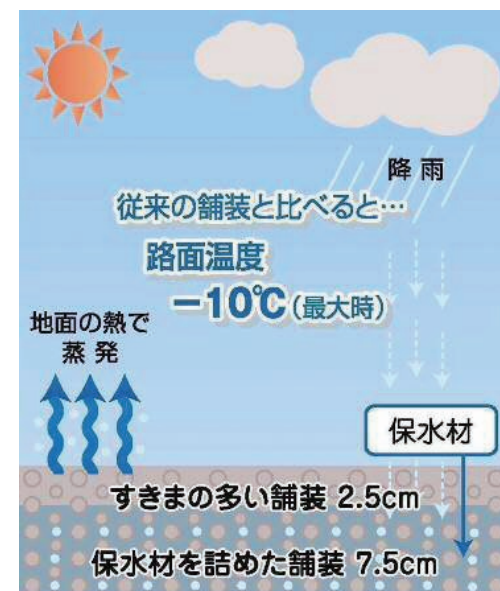
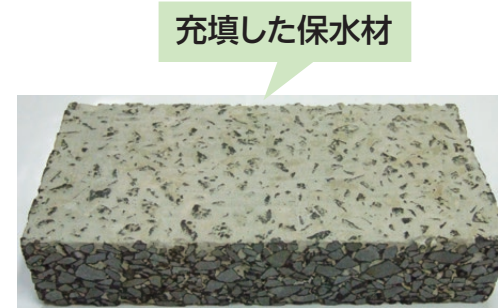
遮熱性舗装とは

路面に塗布した遮熱材が、赤外線を反射することで舗装への蓄熱を防ぎ、路面温度の上昇を最大で8℃程度抑制



保水性舗装とは

保水材にしみ込んだ雨水等が蒸発する時の気化熱によって、路面温度の上昇を最大で10℃程度抑制



オオハクチョウのヒナは、どんな色？

井の頭自然文化園 水生物館飼育展示係 土屋泉

平成30年5月3日に、オオハクチョウのヒナが3羽孵化しました。井の頭自然文化園では久しぶりのハクチョウの誕生です。

ハクチョウのヒナといえばアンデルセン童話の「みにくいアヒルの子」が有名ですが、ハクチョウのヒナの羽毛はアヒルのヒナのような黄色ではなく、少し灰色がかった色をしています。親鳥の足は黒い色をしています。ヒナはピンク色です。その成長は早く、あっという間に親鳥と変わらないくらいに成長してしましますが、羽の色や足の色がどのように変化していくのか、楽しみです。

井の頭自然文化園の水生物館では、オオハクチョウの他にオシドリやマガモ、ヨシガモ、カリガネといった水辺にすむ鳥を飼育展示しています。鳥インフルエンザが毎年のように発生している中で、動物園ではこれら水辺にすむ鳥たちの飼育を控えるようになってきていますが、これら水辺にすむ鳥たちがいなくなるように繁殖にも力を入れています。

動物園の“かお” 上野動物園 アメリカバイソン



2018年3月に千葉市動物公園から上野動物園にやって来たアメリカバイソンの「ヒート」と「ラテ」(ともにメス)です。ぜひ会いに来てください。(5月にヒートの子どもが生まれました。)